完成図





風鈴を描こう

平成 29 年 11 月 11 日

M-Ishikura

「挿入」タブ
「図形」「円/楕円」 適当な大きさに

②「描画ツール」の「書式」タブ 「図形の塗りつぶし」の「テクスチャ」で 「しずく」を選ぶ 「図形の枠線」で「線なし」

③「しずく」の図を選び Ctrl+D で同じものを 1 つ作る(陰になる図)

コピーした図を右クリック 「図形の書式設定」を表示する

④「塗りつぶし」〈グラデーション〉を設定
種類:線形
方向:右方向
角度:0°

分岐点 2/2

分岐点 1/2 色 赤:255

色	赤:255	色 赤:O
	緑:255	緑:O
	青:255	青:0
位置	置:0%	位置:100%
明る	るさ:0%	明るさ:0%
透	過性:80%	透過性:50%











⑤ ②の楕円を①の上に配置する 陰のある楕円になりました



6 風鈴の空洞部分を作ります

「挿入」タブ 「図形」「円」 適当な大きさ

図形を右クリック「図形の書式設定」を表示



分	支点 1/2	分岐点 2/2
色	赤:255	色 赤:O
	緑:255	緑:O
	青:255	青:〇
位置	置:0%	位置:100%
明る	るさ:0%	明るさ:0%
透	過性:80%	透過性:50%

8「図形の枠線」

「線の色」白、背景色 1、黒+基本色 15% 「太さ」0.75pt

9 Bの楕円をAの上に配置する

風鈴の空洞部分が描けました







10「光の反射」を付けます

「挿入」タブ 「図形」「円」 サイズ:適当な大きさ 「図形の塗りつぶし」:白 「図形の枠線」:線なし 「図形の効果」:ぼかし「5pt」



(1)「風鈴本体」の下の舌(ぜつ)を描きます

「挿入」タブ 「図形」「円柱」 サイズ:適当な大きさ

図形を右クリック「図形の書式設定」を表示

	K		
図形の書式設定		?	×
塗りつぶし (() 線の色 () 線の之久イル () 彩の方法 () 泉の声 () アート効果 ()	塗りつぶし) 塗りつぶし(単色)(S)) 塗りつぶし(単色)(S)) 塗りつぶし(切またはテクスチャ)(B)) 塗りつぶし(切またはテクスチャ)(B)) 塗りつぶし(パターン)(A) 標準スタイル(B): (単元) たけ 種類(Y): 線形 た 方向(D): 90° ← 0° グラデーションの分岐点 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)		
- デキスト ボックス 代替テキスト	日本での 日本での 日本での 日本での 一の の 後 通 性 (1): ● の の 後 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	問!'る	
分岐	ī点 1/3 分岐点 2/3 分岐点 3/3	17100	



分岐点 1/3	分岐点 2/3			
色 赤:102	色 赤:O			
緑:204	緑:O			
青:255	青:〇			
位置:0%	位置:50%			
明るさ:0%	明るさ:0%			
透過性:50%	透過性:50%			

分岐点 3/3

色 赤:102 緑:204 青:255 位置:100% 明るさ:0% 透過性:50%

「図形の枠線」:線なし

「配置グループ」の 「回転」で「上下反転」する



(2)「短冊」を描きます
「図形の種類」:「大波」
「サイズ」:風鈴の大きさに合わせて
「図形の塗りつぶし」:オリーブ
アクセント3白+基本色40%
「図形の枠線」:線なし
右へ90°回転

(3)「短冊を結ぶ穴」を作る
「図形の種類」:円 適当な大きさ
「図形の塗りつぶし」:白
「図形の枠線」:線なし

「短冊」と「穴」はグループ化する



●「風鈴の糸を描く」「短冊と舌の間」と「風鈴の上」2本

「図形」: 直線 「図形の枠線」: ベージュ 背景 2 黒+基本色 50% 「線の太さ」: 1.5PT

完成図をみて組み合わせる

2文字落款を作ろう

M-Ishikura

「挿入」タブ→
「テキストボックス」→
「横書きテキストボックスの描画」

適当な大きさのボックスを描きます

(2) 「描画」 ツールの 「書式」 タブをクリック

サイズを 「高さ」「29mm」 「幅」 「29mm」にする

③ テキストボックスの中に文字を入力 「石」の後ろで改行 「倉」

> 「ホーム」タブ 「フォント」から「HG 行書体」 「フォントサイズ」「36」に設定

④ 「ホーム」タブの「段落」グループの右下→
をクリックして「段落」ダイアログボックス
を表示する

「間隔」セクションの 行間を「固定値」 間隔を「32pt」する







段落					?	×
インデン	トと行間隔	改ページと改行	体裁			
全般一						
配置(G):	両端揃え	\sim			
アウト	ライン レベル((): 本文	\sim			
インデン	۱					
左(」):		0字 ≑	最初の	¥〒(<u>S</u>):	幅()):	
右(B)		0字 ≑	(なし)	\sim		\$
□見 ☑1 間隔	によっていた。 行の文字数:	ロファンド層を設定 を指定時に右のイン	.9の(凹) デント幅を自動	調整する(D	
段落前	前(<u>B</u>):	0行 ≑	1.100/1		TRAVING L	
段落行	爱(<u>F</u>):	0行 💠	固定伯	<u>ē</u> ~	32 pt	ĿН
□ 同 ☑ 1	じスタイルの ¹ ページの行数	易合は段落間にスへ で指定時に文字を	ペースを返りした。 行グリッド線につ	<u>れい(C</u>) 合わせる(<u>W</u>)	
プレビュ	-					
10 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 0		※前の咲客前の咲客前 第前の咲客前の咲客前の 第前の咲客前の咲客 第前の咲客前の咲客 「つうねには「あり里ム」 里名。1717年に 本には 本にの咲客大の咲客大の咲客大 客大の咲客大の咲客大 客大の咲客大の咲客大	の快茶 前の咲茶 前 の咲茶 前の咲茶 前 の咲茶 前の秋茶 前 こ ⁰ 37年671 の快茶 次の秋茶 次の秋茶 次 の咲茶 次の秋茶 次の秋茶 次	の改革 前の男 の批算 前の男 学教予聖人・ アイウ 本125 の改革 天の男 の政事 天の男	1 7 - 3 7	
タブ設定	ED	既定に設定(1))	ОК	キャン	セル



6 横書きテキストボックスの上で
右クリック

「図形の書式設定」をクリック

ダイアログボックスを表示する

「テキストボックス」項目の
「内部の余白」セクションの
「左」を「7mm」
「上」を「4mm」



「図のスタイル」グループにある 「図形の塗りつぶし」パレットから「濃い赤」 「ホーム」タブ 「フォントの色」パレットから「白」を選ぶ

8 「描画ツール」の書式タブ

「図形の効果」から 「ぼかし」の「10 ポイント」









④ 横書きテキストボックスの枠線を「実線」にして

「ホーム」タブ 「コピー」(コピーしたところから少しはなれた ところ) 「貼り付け」下向き▼ 「形式を選択して貼り付け」



 「形式を選択して貼り付け」ボックスが 表示されるので

「図 (PNG)」をクリック⇒OK



① 左 ⇒ 横書きテキストボックス

右 ⇒ PNG 形式の図に変換された 横書きテキストボックス

☆これで2文字落款が完成です☆

完成したオリジナル落款はクイックパーツ機能を使用することで文書パーツとして クイックパーツギャラリーに保存しておくことができます





?

 \times

 \sim

 \sim

 \sim

 \sim キャンセル

新しい文書パーツの作成

ギャラリー(G): クイック パーツ

オプション(の): 内容のみ挿入

2文字落款

全般

保存先(S): Building Blocks.dotx

名前(<u>N</u>):

分類(<u>C</u>):

説明(<u>D</u>):

(12)PNG 形式の図が選択された状態で

> 「挿入」タブ 「テキスト」グループにある 「クイックパーツ」に表示される 「選択範囲をクイックパーツギャラリーに保存」

「新しい文書パーツの作成」の (13)ボックスが表示されます

「名前」「2 文字落款」と入力 ⇒ OK



OK



- (14) 「挿入」タブ
 - 「クイックパーツ」をクリックすると メニューに自分の作成した落款が 表示されました

「2 文字落款」というファイル名で「保存」し ておく

最後に Word を終了すると このようなメッセージが表示されるので「保存」 をクリックする

「文書」や「絵」などに「落款」を押す時

「挿入」「テキスト」「クイックパーツ」「落款」をクリックする

(15)

4